

## 1) Cinderella, R, Maxima をインストールする.

- ・ <https://beta.cinderella.de> (Cinderella)
- ・ <https://cran.r-project.org> (R)
- ・ <https://sourceforge.net/projects/maxima> (Maxima)

## 2) TeXをインストールする.

## 3) KeTCindyのインストール

## (1) ketcindyfolder-masterを以下からダウンロードする.

<https://www.dropbox.com/s/aj9dseerm8j48c4/ketcindyfolder-master.zip?dl=0>

- ・ InstallerLinux/setketcindy.shをテキストエディタで開き, パスを修正する.
- ・ ketcindyfolder/scriptsのetouset.txtも適宜修正する.

## (2) ターミナルのshコマンドでsetketcindy.shを実行 (管理者権限必要)

- ・ scriptsの内容が選択したTeXの中にコピーされる.
- ・ ketcindyのstyleファイルがTeXにコピーされmktexlsrが実行される.
- ・ CinderellaのPluginsにKetcindyPlugin.jarがコピーされる.
- ・ また, ketcindy.iniが作成される.

## (3) ターミナルのshコマンドでsetwork.shを実行 (管理者権限不要)

- ・ 作業ディレクトリketcindyがユーザホームに作成される.
- ・ タイプセットの方法 (TeXの種類)  
通常は, platex (p)またはuplatex(u)を選ぶ.
- ・ ketcindyにworkフォルダの中身がコピーされる.
- ・ .ketcindy.conf (不可視ファイルだが編集可) がketcindyに作成される.  
注) TeXを切り替えるときなどはこのファイルを修正する.
- ・ マニュアルもコピーされる.
- ・ 作業ディレクトリにketcindy.confの雛形がコピーされる.
- ・ KeTCindyを立ち上げたとき, 設定ファイルは次の順に読み込まれる.

- 1) ketoutset.txt
- 2) ユーザホームの .ketcindy.conf
- 3) 作業ディレクトリketcindyの ketcindy.conf

## 4) KeTCindyのテストラン

- (1) 作業ディレクトリの中のtemplate1basic.cdyを選び, 「情報を見る」を開く.
  - ・ アプリケーションが所定のCinderella2になっていることを確かめる.

- ・「情報」を閉じて、template1basic.cdyをダブルクリックする.
- ・画面に白い枠が出れば、ライブラリの読み込みは成功.

(2) スクリーンの左上部にあるFigureボタンを押してPDFが表示されれば成功.

#### 5) TeXworksの設定 (kettexの場合)

- ・ TeXworksを立ち上げる
- ・ 次を選択

TeXworks > 環境設定 > タイプセット

- ・ 上の欄 (パス) に以下を追加

/Applications/kettex/texlive/bin/x86\_64-darwin

注) 上の行を上欄の先頭になるように移動する.

- ・ 下の欄の横にある + をクリック

名前: uplatex(ptex2pdf)またはplatex(ptex2pdf)

プログラム: ptex2pdf

引数:

-u (uplatexの場合のみ)

-l

-ot

\$synctexoption

\$fullname

OKボタンを押し、デフォルトを変更してOKボタンを押す.

#### 6) gccをインストール

- ・ 曲面描画のためには, gccが必要である.